



親の声掛け、どうしていますか？

令和7年度がスタートしました。お子さんのご進学・ご進級おめでとうございます。学校では、新任教（転入の先生方との出会い）、始業式、入学式、歓迎会を行い、生徒は担任や学年部・教科担当の教師とのあらたな出会いや、先輩・後輩との出会いがありました。

さて、NECレッドロケッツコンディショニングアドバイザー（日本ペップ・トーク普及協会代表理事）の岩崎由純氏は、「大事なのは、前向きな言葉を使うこと。人は『聞いて・理解して・イメージする』だからマイナスな言葉を使うとマイナスなことをイメージしてしまう。」と言っています。

保護者の皆様は、中学校へ進学したお子さんに、一つ上の学年に進級したお子さんに、どんな声掛けをされていますか？

中学生になると、定期テスト・実力テスト・教科ごとのテストなど学力面の結果がでるものや、部活動・クラブチームでの公式戦、練習試合など運動面で対外的な結果がでるものがあります。どちらも結果を「成績」と言ったりしますが、成績が上がれば嬉しいものですが、成績が下がってくると「何やっているの。もっと〇〇しなさい。」と愚痴や嫌みが出てくる場合があります。

これまで多くの保護者・小中学生とかかわってきた中で感じることは、お子さんの成績が下がったときの『親の声掛け』の仕方の違いで、お子さんのその後が変わってくるということです。

お子さんへの声掛けが嫌みであったり、愚痴であったりしたとき、その後お子さんの学習や運動への意欲は高まるでしょうか？

まずは、結果（成績）だけ見るのではなく、お子さんの日頃の様子を見ていただきたいと思います。そして結果で声掛けをするのではなく『過程』をみて声掛けをしてください。結果が出たときに『結果に至るまでの過程』はどうだったのかを本人に振り返らせてほしいと思います。（結果が良くても悪くても、これは使える手段だと思います。）

本人の口から「もっと〇〇しておけばよかった。つぎは〇〇しよう!」を出させたいものです。親が言うのではなく、子どもが自ら気付くようにしたいものです。

2点目は『なりたい自分』が何なのかを本人と相談・確認してください。まだ中学生では将来のことを考えられないと思います。中学生にとっての『近い将来』は、高校進学です。「〇〇高校の〇〇科へ進学したい!」「そこで〇〇の勉強をしたい。」（例えば、田方農業高の動物科学科にいきたい。そこでトリマーになるために動物のことを学びたい。）という思いが持てると、中学校での生活に張りが出るといいます。人と比較するのでなく、自分がどうなりたいのかと自己を見つめるようになると思います。

そして、PEP TALK（ペップ・トーク）。人は『聞いて・理解して・イメージする』。だからプラスの言葉を使い、プラスをイメージする（させる）のがよいと思います。

（文責 渡辺健幸）

ようこそ大仁中へ & 新学年スタート！

桜が満開の大中坂に、春の日差しが降り注ぐ中、令和7年度入学式が行われました。97名の新入生が、中学校生活をスタートしました。新しい友達と共に歩み始めた新入生たちが、笑顔と希望でいっぱいの日々を重ねながら、共に成長していく姿が楽しみです



3年生は、大中スクエアで楽しそうにお弁当です。修学旅行に向け準備を進めています。



2年生は学年日課で、ALT の先生とレクを行いました。来月には職場体験の予定です。



1年生は集会で、学年委員の意気込みと、学年目標が発表されました。授業にも慣れてきました。



7名の新しい職員を迎え、着任式です。始業式では教科書授与や、担任発表がありました。

新入生歓迎会

4月15日(火)新入生歓迎会が行われました。生徒会長鈴木さんのあいさつの後、生徒会歌を披露しました。とても素敵な歌声です。そして、応援団による新入生へのエール、校歌合唱と続きます。中学生の歌声に驚いたのではないのでしょうか。ユニホームを着た部長たちによる、部活動紹介が続きます。大仁中では、部活動だけではなく外部のクラブチームで活躍している生徒もたくさんいます。5月の連休明けには正式入部となります。

後半は、交流タイムです。出席番号を基準にしたグループで、大中クイズに挑戦しました。楽しく学校のことを知ることができたでしょうか。交流タイム終了後には、2, 3年生による歌のプレゼントがありました。縦割りの色決めも行われ、これからの学校生活がより楽しみになりました。



☆危機対応マニュアルを配布しました☆

令和7年度版の家庭保管用危機対応マニュアルを配布しました。もしも一人の時に地震が起きたら・・・「MY 避難計画」をご家庭で確認をお願いします。